

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

赤潮プランクトン調査の結果、有害なカレニア パピリオナセアが最大で1細胞/mL確認されました。また、湾奥部では、珪藻類が多く確認されました。

貝毒プランクトン調査の結果、麻痺性貝毒の原因種は確認されませんでした。

今後とも海色等には十分注意してください。

※(本日は、海水1mLでプランクトンの検鏡を実施しております。)

調査時間 (10:00~12:00)	水深	水温	塩分	溶存 酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	カレニア パピリオナセア	ギムノディニウム カタナータム
採集地点	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)	*1	*1	*3
藻津 下図① 透明度:21.0m	0	25.9	32.6	6.69	0	0	0
	5	26.0	33.9	6.36	0	0	0
	10	25.8	33.9	6.15	0	0	0
宿毛湾中央 下図② 透明度:18.0m	0	25.9	33.7	6.06	0	0	0
	5	25.9	33.9	5.95	0	0	0
	10	25.8	33.9	5.80	0	0	0
シラハエ 下図③ 透明度:13.0m	0	26.2	33.9	6.93	0	1	0
	5	25.9	33.9	6.70	0	0	0
	10	25.9	33.9	6.42	0	0	0
猩々箸 下図④ 透明度:7.0m	0	26.0	33.5	7.16	0	0	0
	5	26.0	33.9	6.50	0	0	0
	10	26.0	33.9	6.23	0	0	0
ヒロウラ 下図⑤ 透明度:3.5 m	0	26.1	33.1	7.94	0	0	0
	5	25.8	33.8	7.10	0	0	0
	10	25.9	33.9	6.51	0	0	0

*1: 魚類を死滅させるおそれがある種

(細胞/mL)

*3: 麻痺性貝毒の原因種

プランクトン種	注意報	警報	数値の参考県
コクロディニウム ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1,000 細胞/mL	大阪府

〈下図〉

